

令和元年度事業報告

社会福祉法人 尼崎武庫川園

1 令和元年度事業総括

(1) 50周年企画の実施について

令和元年5月14日に社会福祉法人尼崎武庫川園創立50周年記念式典を開催した。式典では兵庫県、西宮市、尼崎市等から多くの祝辞をいただき、兵庫県の井戸知事からは感謝状を授与された。50年の歩みを振り返り、今後も社会福祉法人としての使命を果たし続けることが大切であると再確認できる式典となった。また、11月2日に行われた恒例の尼崎武庫川園祭りでは50周年企画を実施し、ご利用者・ご家族の皆様や地域の皆様とともに楽しんでいただくことが出来た。

(2) 設備等の修繕・更新について

今年度は、9月中旬から12月初旬にかけて新館（松の園・カトレアの園・第1松の園）の共用部空調システムの更新工事を実施した。この事業においては、経済産業省の平成31年度省エネルギー投資促進に向けた支援補助金を活用することが出来た。更新する機器の1/3にあたる900万円の補助を受けて実施した。

また、台風等の影響により遅れたが、令和2年1月中旬にはリープ・フルーリーの屋上防水・外壁塗装工事が着工した。5月上旬まで年度をまたいでの工事となったが順調に進められている。

(3) 人材育成・人材確保

法人研修において、階層別、テーマ別などの研修を実施し、職員のスキルアップや権利擁護意識の向上に努めた。特に役職層の意識向上に関して、各施設での支援体制や業務改善の工夫などを情報共有する目的で、職場巡回等を実施し、自事業所や法人全体のレベルアップのために必要なことは何かを考える機会を持つなど、役職者としての役割を意識するよう努めた。また、権利擁護研修を3回実施し、すべての職員がご利用者の人格を尊重した支援の大切さを学ぶ機会を持つようにした。福祉人材の不足が社会問題化する中、広報費を予算化し新卒採用活動及びパート、派遣職員の採用等を行い、各施設での支援体制を維持するよう努めた。

(4) 委員会活動

①衛生委員会

毎月、各部署の労働状況をデータで出し合い改善点など話し合っている。また、委員だけではなく、全職員が職場環境を改善することを目標に「アクションチェックリスト」を職場巡回で作成している。令和元年度は腰痛の実態調査を行い、予防・軽減について話し合い、「ミーアキャット体操」を全職場で取り入れることとなった。産業医を中心に全職員参加型衛生委員会をめざしている。

②広報委員会

昨年度法人創立50周年を迎え、ヒューイットホテルで記念式典を執り行った。委員会としても企画に携わり、半世紀にわたり社会福祉に貢献させていただいたことに、改めて喜びを感じた。また、記念誌発刊に向けて創立以来ご利用者と共に歩んできた道を各施設の委員が丁寧にたどり、膨大な資料から一冊にまとめあげた。尼崎武庫川園祭では、訪れた方々に50年の歴史（歩み）を見ていただき、記念グッズの配布を行った。法人パンフレットの作成にも着手しており、幅広く活動した1年であった。

③事故対応委員会

事故対応委員会は、平成 28 年 5 月に設置された。法人各施設での利用者の方に対する支援のあり方、各施設で起こった事故事案等に対し、施設が単独で対処するのではなく法人全体の課題として対処していくことを目的としている。弁護士による虐待防止研修や誤薬防止キャンペーン、行方不明者対応フローを作成し、利用者が快適に暮らせるよう法人全体として取り組んだ。今後は、緊急時の対応（AED 等）についても取り組めればと考えている。

④採用チーム

月に 1 回採用チーム会議を行い、就職フェアに参加された方 1 名とマイナビサイトから 1 名計 2 名の新卒採用を実現した。新たに「FACE to FUKUSHI」の就職フェアにも参画を決定した。法人の特色や福祉の魅力をどう学生にアピールするかをまとめるため、職員アンケートにも取り組んだ。新型コロナウイルスの影響で、3 月の就職フェアが中止となったが、「Join for kaigo」のオンライン合同説明会にも法人情報を掲載することができた。

(5) 災害への備えについて

大規模災害への備えとして、避難確保計画を策定した。当法人の立地上、最も警戒しなければならないのは、大雨による武庫川の氾濫が想定される。西宮市防災マップでは 2 階まで浸水すると予測されているため、すべての利用者が 3 階以上の場所へ避難することを想定とした全施設対象の防災訓練を実施した。災害対策本部の設置と各役割の確認などを含め、今後も検討が必要である。

年度終盤には新型コロナウイルスの流行に伴い、各施設において特性に応じた感染防止対策を実施していった。2 月末には理事長の判断で、いち早く入所施設の外出活動の自粛や通所の方へも不要不急の外出を自粛する通知を出し、感染防止に努めた。全国的に不足してきたマスク・手指消毒液などの各施設における備蓄状況の把握を行い、国の実施する優先供給事業への申請を速やかに行った。また、衛生用品の購入費用などを助成する「新型コロナウイルス支援補助金」の申請を西宮市へ行った。

2 職員配置

常務理事 施設長兼務	施設長	事務員 施設事務兼務		
1	5	3		

2 年 3 月 31 日現在

3 法人主催研修

実施日	研修名	人数及び対象階層	地域
4 月 1～12	新人職員研修	2 名 新規採用者	
5 月 8 日	役職研修	9 名 役職者	
5 月 17・24	新任職員研修	8 名 新採用及正規登用者等	

6月5日	役職研修（職場巡回）	9名 役職者	
6月13日	役職研修（職場巡回）	9名 役職者	
7月6日	権利擁護研修	23名 新任及び全職員	
8月2日	サビ管研修	10名 サビ管及び役職者	
9月21日	実践発表	28名 全職員・地域	22
10月4日	権利擁護研修	22名 新任及び全職員	
11月9日	チームマネジメント研修	8名 中堅職員	
11月30日	メンタルヘルス	12名 管理職・役職	
12月5日	役職研修	10名 役職者	
12月14日	権利擁護研修	6名 中堅職員	
1月18日	自閉症事例発表会	27名 全職員・地域	4
2月7日	接遇研修	12名 新任・全職員	

4 年間行事

月	行事内容
4月	1日 辞令交付式 委員会（衛生、事故対応、広報、採用）
5月	14日 50周年記念式典の開催 22日 監事監査 委員会（衛生、事故対応、広報、採用）
6月	4日 理事会（事業報告・監事監査報告、決算報告） 20日 評議員会（事業報告・監事監査報告、決算報告） 20日 理事会（理事長の選任） 委員会（衛生、事故対応、広報、採用） 29日 県社協就職フェア出展
7月	委員会（計画策定、衛生、事故対応、広報）
8月	委員会（衛生、事故対応、広報、採用）
9月	委員会（衛生、事故対応、広報、採用）

10月	26日 西宮市民祭り出店 委員会（衛生、事故対応、広報、採用）
11月	2日 尼崎武庫川園祭りの開催 9日 ミーツザ福祉（尼崎市民福祉の集い）出展 委員会（衛生、事故対応、広報、採用）
12月	1日 正規職員登用試験実施 13日 理事・評議員意見交換会 委員会（衛生、事故対応、広報、採用）
1月	委員会（衛生、事故対応、広報、採用）
2月	委員会（衛生、事故対応、広報、採用）
3月	10日 第3回理事会（第1次補正予算・令和2年度事業計画・令和2年度当初予算・就業規則等改正） 26日 第2回評議員会（第1次補正予算・令和2年度事業計画・令和2年度当初予算・就業規則等改正） 委員会（衛生、事故対応、広報、採用）

松の園

1 令和1年度事業総括

1年度は、男性22人、女性23人、計45人満床でのスタートであった。しかし、8月より70代男性利用者の入院が長期にわたり、寝たきりの状態が改善されなかった。何度か退院に向けてのリハビリを試みたが、嚥下機能も落ち手足の拘縮も改善することはなかった。60代女性利用者も内蔵機能の不調から11月より入退院を繰り返した。空床部分は10月から短期入所、日中一時を稼働させ収入減を抑えた。単価改正もあり、収入は450万円増となった。短期入所の延べ日数は257日で前年の204%、日中一時は123時間で、前年の227%のご利用があった。

ガスヒーポン空調設備について経年劣化による更新工事が必要となり、経済産業省の補助金を得て季候の良い10月から2か月間工事をおこなった。事故の無いよう施工業者と十分な打ち合わせをし、無事に12月上旬に引き渡し完了した。省エネの効果も期待できる。

浴室のカビや床の汚れ、特に居室エリアの清掃を1泊旅行中に業者の手を入れ徹底的に行った。築15年の汚れが取れ、清潔な環境で気持ち良く過ごされている。

松の園のご利用者は30代から70代と年齢の幅が大きい。それぞれのライフステージに応じて豊かに暮らしていただけることを目指している。個別の機能訓練やリハビリにも十分な時間をかけている。加えて、生活の中で身体を動かすことを常に意識してきた。洗濯、掃除、ベッドメイクなどできることは職員の見守りの中、自分の手でおこなっている。認知機能の低下により、何をしているのか、どこに行くのかがわからない方もおられるが、安心して暮らしていただけるよう、食事や入浴場面の職員配置を厚くしてきた。日中活動の中心は生産活動だが、昨年度152万円であった収入が127万円に減少した。ご利用者の高齢化で請け負う量を調整していることと、外出行事が増えていることが原因である。ご利用者に支払える平均年間工賃は年額28,000円であった。十分な額とは言えないが、働いて対価を得るといことは、社会・経済活動に参加していることでもあり、とても有意義な活動だと認識している。生産活動を主軸に置いていることで、生活にメリハリがあり、作業に携わること生きがいに感じておられる方も多い。支援計画に基づき、いきいきと暮らせるよう、ご利用者主体の日課をプログラムしている。ボランティアの方々の力を借りて手芸やヨガなどの余暇も充実させた。

職員には障害の特性を理解し、不適切な支援につなげない知識とスキルが身につくよう研修を組み立てた。朝礼時の読み合わせも6年続けており、継続することで、人権意識や虐待に気付く目が育っている。

2 職員配置

施設長	事務員 本部事務兼務	サービス管理 責任者	看護師 (非常勤)	管理栄養士
1	1	1	1 (1)	1
理学療法士 非常勤	支援員 常勤 (嘱託)	支援員 非常勤	嘱託 医内 科、精神科、歯科、耳 鼻咽喉科	ボランティア グループ 1 個人 2
1	10 (1)	10	4	

2年3月31日現在

3 内部・外部研修

	研修日	研修内容	参加
外	5月17日	行動障害のある人の暮らしを支える（支援員）	2
外	6月9日	自閉症 e サービス 基礎講座（支援員）	1
外	6月15日	自閉症 e サービス 実技演習（支援員）	1
外	6月22日	自閉症 e サービス 基礎講座（支援員）	1
外	7月20日	自閉症 e サービス 基礎講座（支援員）	1
外	8月7日 8日	対人支援職のためのセルフケア（支援員）	1
外	8月10日	自閉症 e サービス 基礎講座（支援員）	1
外	8月24日 25日	自閉症カンファレンス（支援員）	1
外	9月6日	虐待対応力向上研修（支援員）	1
外	9月14日	強度行動障害 基礎（支援員）	2
外	9月21日	自閉症 e サービス門塾（支援員）	1
外	10月12日	自閉症 e サービス門塾（支援員）	1
外	11月16日	自閉症 e サービス門塾（支援員）	1
外	11月20日	ひょうご家族ネット中央研修会（管理職・役職）	2
外	11月30日	自閉症 e サービス門塾（支援員）	2
外	12月14日	自閉症 e サービス門塾（支援員）	1
外	1月18日 19日	自閉症 e サービス評価セミナー（支援員）	1
外	1月23日 24日	強度行動障害 実践（支援員）	2
外	2月9日	施設と地域で取り組む高齢化対策（支援員）	1
外	2月22日	ダウン症ワークショップ（支援員）	1

4 年間行事

月	日	行事内容	参加人数
4月	4	花見（西武庫公園）	44
4月	25	春季健康診断	44
5月	16	ボーリング大会	42
5月	30	食事会（ビッグボーイ・マック）	44

6月	6	フルーツフラワーパーク旅行	45
6月	18	七夕会	44
7月	11	外食	45
7月	20	ボーリング大会	42
7月 8月	18～5	夜間外出 万博エキスポ・神戸クルージング つかしん温泉	44
8月	29	夏祭り	44
9月	24	食事会（すたみな太郎）	44
10月	5	松の園フェスティバル	45
10月	8～9	伊勢志摩一泊旅行	42
11月	2	法人祭	42
11月	5	外食 マック	38
11月	29	尼崎城見学	42
12月	17	ボーリング大会	41
12月	25	クリスマス会（ホテルヒューイット） グループ別買い物	44
1月	7～10	広田神社初詣	36
1月	11	新年会 餅つき大会	40
2月	3	節分 豆まき	44

毎月の行事

- ・誕生会・理美容・血圧体重測定・音楽セラピー・手芸教室
- ・ヨガ体操・料理教室（ランチ・おやつ）
- ・内科検診・精神科往診・オーラルケア（毎週）
- ・耳鼻科検診（年2回）

5 月別生産活動収益

月	月別合計金額
4月	92,288
5月	96,475
6月	119,351
7月	96,361

8 月	96.606
9 月	116.532
10 月	105.571
11 月	116,434
12 月	83.882
1 月	98.549
2 月	108.350
3 月	137.428
合 計	1, 267.827

カトレアの園

1 令和元年度事業総括

31年度は入所者44名通所者11名でスタートした。年間通じて入所受け入れの検討を行い、見学者3名体験利用4名を受け入れた。特に体験利用を積極的に行い、マッチングを図った。体験された方の1名が入所につながった。男性ご利用者が5月より長期入院され、最終的に介護保険施設に移行された。

9月風呂場の配管漏水があり、また2月には埋設管の漏水があり、配管入れ替えの工事が必要となった。水道料金については減額申請を行った。日中活動は集団での活動をメインに個別支援活動を取り入れている。活動の充実と職員の負担軽減のため、カラオケのエルダーシステムを導入した。

リハビリでは、個別の施術だけではなく、ウォーキングや、ボッチャ、などの取り組みやセルフケアの学習なども進めている。ボッチャの活動は、コロナ禍で地域の大会が中止になったので、園内で大会を開催する企画や提案をご利用者が主体的に行えるよう支援した。

虐待防止委員会はセルフチェックアンケートを行なった。

リフト委員会は24時間ケアの取り組みを行い、9月に事例発表し、協力いただいた企業のホームページやパンフレットにも取り組みが紹介された。

24時間ケアの取り組みはポジショニングや姿勢管理だけではなく、支援の質の向上に取り組むうえで今後大切な視点となった。

設備面では経年劣化のため、経済産業省の「省エネルギー投資促進に向けた支援補助金」を活用し新館共用部分の空調設備の新調を行った。

2 職員配置

施設長	事務員	サービス管理 責任者	看護師	栄養士
1	1	1	2	1
理学療法士	支援員 常勤（内嘱託）	支援員 非常勤	清掃・運転 非常勤	
2	25（5）	9	5	

令和2年3月31日現在

3 内部・外部研修

外部研修

実施日	研修名	参加人数
4月18・19日	バリアフリー展	3名（PT・生活支援員）

4月26日	リフト基本研修	2名 (支援員)
6月9・22日 7月20・26日 8月10日 12月7日 1月18日	自閉症 e ネット	1名 (支援員)
7月22日	ボランティア担当	2名(支援員)
8月20日 9月20日	スピラドゥ研修	1名(PT)
8月23日	炎上させない苦情・クレーム対応	1名(主任)
9月6日 1月10日	障害者虐待対応力向上研修	1名(支援員)
9月13・14日	リフトリーダー養成研修	2名(支援員)
9月13日	心の講座	1名(施設長)
9月14日 11月13日	強度行動障害支援者研修	1名(副主任)
11月6日	虐待対応研修	1名(施設長)
11月10日	ミーツ・ザ・サミット	2名(支援員・ 施設長)
11月19日	更生相談所 カトレア紹介	1名(施設長)
11月 2 0・21日 12月5日	リフトコーディネーター	2名 (支援員)
11月27日	自立支援協議会オープンセミナー	1名 (施設長)
1月11日	他職種連携するために	1名 (施設長)
1月17日	ノーリフトフォーラム	1名 (施設長)
2月5日	こんな時あなたならどうする？	2名 (支援員)
2月7日	感情が不安定でサービス提供が難しい 方の対応	2名 (支援員)

内部研修

実施日	研修名	参加人数
4月5日 5月17日 8月16・31日	ポジショニング・24時間ケア	4～6名
8月30日 9月 2日 10月3日 4日 31日	ユニ・チャームおむつ研修	5名 3名 2名 2名
9月21日	事例発表会	7名

10月1日	第1松の園てんかん発作研修	1名
11月29日	24時間ケア研修	5名
12月6・ 18日	池田ほほえみの里見学	5名
12月20日	リーブ自閉症研修	2名

4 年間行事

月	日	行 事 内 容	参加人数
4月	3～5日	近くの公園に花見	40名
	12日	春の行事	52名
	18日	春季健康診断	55名
	30日	アイスクリームパフェづくり	30名
5月	3日	ビンゴ大会	40名
	6日	くずもちアラモードづくり	40名
	27日	トライやるウィーク受け入れ	
6月	26日	甲東文化の集い	1名
	29日	村上さんギター演奏	22名
7月	15日	ダンス・音楽ボランティア	20名
	26日	スポーツ大会	40名
8月	12日	ミニ縁日	25名
	25日	ななくさ学園夏祭り	2名
9月	4～ 19日	武庫之荘総合高校実習受け入れ	
	19日	メイクセラピー	7名
9月 10月 11月	6日 13日 25日 15日	日帰り旅行	45名
10月	4日 11日	ボッチャ大会	38名
	11日	音楽ボランティア	38名
	26日	ななくさ清光園祭り	2名
11月	2日	武庫川園祭り	48名
	23日	甲東文化の集い	1名

	30日	村上さんギター演奏	35名
12月	9日	段上地区懇談会見学会	
	20日	クリスマス&忘年会	27名
	29日	おでんパーティー	25名
2月	7日	西宮市福祉作品展	2名
3月	10日	メイクボランティア	8名
	27日	ひまわり会総会	32名

武庫アルテンハイム

1 平成 31 年度事業総括

平成 31 年度は特養稼働率 82.8%（最大 55 名）（前年度 88.0%：最大 55 名）、短期入所稼働率 44.6%（前年度 56%）であった。

平成 30 年度の実績を上回る目標を立てて、職員と事業に取り組んできたが、6 月以降入退院者が常に 7～8 名いるという状態から抜け出すことが出来なかった。結果、マイナス財政に大幅に戻る事となった。高齢化・重度化が進んできたとはいえ、入院で空床になったベッドをショートステイでの活用等で利用できなかったこと、また、2 月から発生した新型コロナウイルスの影響もあり、新規入居者の面接を実施できなかったことが大きく響いた。

ショートステイでは、50%には届かなかったが、土日の送迎を実施することで新しいリピーターを獲得できる事となった。虐待ケースの受け入れや、介助者の体調不良等で在宅生活が困難になった方の長期ショートステイを受け入れた。その点で部屋割りの難しさは増したが、60%を超えるように進めていき、ショートステイから入所に繋げていきたい。

施設として、介護福祉士養成校の実習生を受け入れた。地元尼崎市の養成校ということもあり、引き続き、実習が就職に結びつくよう、実習指導にも力を入れていきたい。介護福祉士をもった実習指導者が 4 名となり、第 2 段階のプランニングまでの指導ができることで、職員自身が日ごろの介護について見つめ直す機会を増やせると考えている。

昨年度と同様、インフルエンザ対策は早めの加湿器と次亜塩酸水での消毒実施、職員のマスク着用と職員一人ずつが次亜塩酸水の消毒ボトルを携行することで、感染者は職員 1 名のみであった。

なお、設備は機器の老朽化は着実に進んでおり、平成 30 年度事業報告にもあげていた入浴用電動ストレッチャーであるが、残る 2 台も製品廃番及び修理不可機器となり、同じくハローワーク助成金の活用でストレッチャーと特殊浴槽とを入れ替えた。また、遠足や病院搬送時に利用していたリフト付きキャラバンもリフトが修理できないことが分かり、助成金等の活用を図ったが選より漏れたため、新車を施設購入することとなった。

昨年度は、職員間におけるハラスメント問題が大きく表に出てくることとなり、被害に遭っていた職員だけではなく周囲も巻き込み、法人内にハラスメント委員会を設置してもらって対応した。結果、当該職員の配置転換を行い、被害に遭っていた職員や周囲の職員の労働環境を整えた。

2 職員配置 ※派遣職員除く

施設長	事務員 非常勤	介護支援 専門員	看護師	栄養士
1	2	1	3	1
理学療法士 非常勤	介護職員 常勤（嘱託）	介護職員 非常勤（生活支援）	清掃業務 非常勤	生活相談員
1	15（3）	14（3）	1	1

2 年 3 月 31 日現在

3 内部・外部研修

実施日	研修名	主催	参加者
4月1日 ～12日	①就業規則 ②安全衛生 ③接遇、法人理念福祉の歴史	法人内研修	1名
4月4日 ～28日	①社会制度の歴史 ②介護とは？ ③サービス提供の基本的視点・ ロールプレイング	施設内研修	4名
5月17日	制度、法律を学ぶ(社会福祉法、 虐待防止法)	法人内研修	1名
5月24日	制度、法律を学ぶ(障害者総合 支援、介護保険)	法人内研修	1名
6月5日	職場巡回	法人内研修	1名
6月6日	笑って笑ってお元気に	西宮市ケアマネージャー 協会	1名
6月13日	職場巡回	法人内研修	2名
6月19日	給食施設研修会及び集団給食 施設対象食中毒防止講習会	西宮市保健所	1名
6月22日	介護施設における栄養マネジ メントー迅速かつ適切に行う ためにー	日本栄養士会	1名
6月24日	安全運転管理者等講習	兵庫県公安委員会	1名
7月6日	一人ひとりを大切にした支援 とは	法人内研修	2名
7月12日	高齢者虐待対応力向上研修	兵庫県社会福祉士会	1名
9月3日	高齢者福祉新任職員研修	兵庫県社会福祉協議会	1名
9月8日	介護支援専門員実務研修受講 試験対策	兵庫県老人福祉事業協会	1名
	新任職員ステップアップ研修	兵庫県社会福祉協議会	1名
9月21日	実践発表(地域移行、姿勢保持)	法人内研修	1名
9月26日	医療資源として「病棟の機能・ 役割」を知ろう	西宮市ケアマネージャー 協会	1名
9月28日	専門職として災害に備えるこ と	兵庫県介護支援専門員協 会	1名
10月4日	権利擁護研修	法人内研修	1名
10月16日	高齢者施設におけるホスピタ リティマナーと楽しく学ぶ心 理学～交流分析～	近畿老人福祉施設協議会	2名
	課題整理総括表・評価表の考え 方・書き方・使い方	兵庫県介護支援専門員協 会	1名
10月24日	ケアプラン基礎研修会	兵庫県老人福祉事業協会	2名
10月30日	高齢者施設等におけるインフ	西宮市医師会	1名

	ルエンザ集団発生時の対応について		
10月31日	対人関係の構築～ケア従事者の為の人間関係論～	兵庫県老人福祉事業協会	1名
11月9日	チームマネジメント研修	法人内研修	1名
11月12日	高齢者虐待研修		1名
11月20日 (全4回)	介護福祉士実習指導者講習会	兵庫県介護福祉士会	1名
11月28日 (全2回)	甲種防火管理新規講習	日本防火・防災協会	1名
11月29日	アセスメントスキル向上研修	兵庫県社会福祉協議会	1名
	認知症高齢者とのコミュニケーション～心との会話～	兵庫県老人福祉事業協会	1名
11月30日	メンタルヘルス研修	法人内研修	1名
12月5日	職場巡回の今後に向けて	法人内研修	2名
12月10日 (全6回)	認知症介護実施研修(コロナ禍により6日目未終了)	兵庫県社会福祉事業団	1名
12月12日 (全4回)	高齢者福祉リーダーゼミナール(コロナ禍により4日目未終了)	兵庫県社会福祉協議会	1名
12月13日	利用者の笑顔を引き出す排泄ケア	兵庫県老人福祉事業協会	1名
12月14日	権利擁護研修	法人内研修	1名
1月18日	自閉症事例発表会	法人内研修	1名
2月7日	接遇マナー研修	法人内研修	1名
2月10日	職場のパワーハラスメント防止対策について	兵庫産業保健総合支援センター	1名
2月12日	新カリキュラム対応介護実習指導研修	兵庫県介護福祉士会	1名
2月13日	医療の安全に対する防止についての取り組み方を学ぶ	西宮市保健センター	1名
2月13日 (全2回)	相談面接技術研修	兵庫県社会福祉協議会	1名
2月17日	緊急時における食の対応について～平常時からすべきこと～	兵庫県社会福祉協議会	1名

4 年間行事

月	行 事	
4	花見昼食会	53名
	ミニ外出(桜花見、万代買物)	8名
5	端午の節句会(マグロの解体ショー)	41名

	菖蒲湯入浴	41名
	万代外出	6名
6	外出行事（西宮ガーデンズ）×1回	2名
	日帰り遠足（神戸どうぶつ王国）×3回	12名
7	七夕会（アンサンブルレインボー大正琴）	46名
8	夏まつり	51名
9	敬老会	46名
	こばと聴覚特別支援学校敬老訪問	43名
10	こばと聴覚特別支援学校運動会	4名
11	武庫川園祭り	49名
	ミニ外出（コスモス見学）×3回 ※2回喫茶あり	11名
12	クリスマス会	47名
	ゆず湯入浴	47名
	大晦日紅白歌合戦鑑賞	
1	新年会	47名
2	節分会	46名
	手作りおやつクッキング	49名

毎月 誕生日会（ケーキ選択）

第2松の園

1 令和元年度事業総括

令和元年度、第2松の園では31年3月に新たに1名の新規利用登録があり、利用契約43人でスタートした。

1日の平均利用者数は33.98人、定員35人に対して97.1%の利用率であった。前年度に比べ1.5%減少したのには、下記の影響があった。

11月から男性利用者のご家族が入院しご自宅での支援が困難になったことで松の園にてショートステイを長期で利用されている。感染予防の為、日中の活動を松の園で過ごされているので第2松の園は欠席の状態である。

また、12月には58歳の女性利用者1名が体調不良で欠席が続いており、ご家族で話し合われた結果、「定年退職」という位置づけで、ご本人が納得され退所となった。

生産活動に関しては、今年度も営業の窓口として目標工賃達成指導員を配置し、ジョブステーション西宮から紹介のあった誠進産業、タイコーメールサービスとの受注を始め、単独では受注できない多くの仕事を請け負うことができ、イマイとも新たに受注することで作業の請け負いを切らせることなく続けることができた。また、西宮市上下水道局より、引き続き水道メーター解体作業を請け負うことができたことで過去最高の売り上げとなった。

営業窓口となる職員の個人所有通信機器に便宜上連絡が入ることがあり、常態化しないよう、事業所名義の通信機器を2台契約した。通園バスでの送迎時や出入荷時にも連絡用に使用することとした。

障害特性に応じた構造化などの支援を行い、作業種が豊富にあることで細分化した工程の作業を提供することが可能となり、利用者1人ひとりが携われる工程を増やし、様々な経験を積み、スキルアップに繋がっている。

職員体制については、9月に施設長、副主任の退職により、施設長は松の園との兼任、役職者についてはリーブ・フルーリーより異動があり現場の管理を行う。人員の不足で11月にパート職員を1名雇用するが体調不良等による有給利用、作業の準備、片付け、梱包、ケース記録等の書類整備、行事の準備などで超過勤務が発生、令和元年度合計で492時間の超過勤務が発生した。

ケース記録や日誌等の事務作業の負担の軽減や効率化を目的として、障害系施設が既に使用している入力支援ソフト「ほのぼの」の導入を令和2年度に予定していたが、財政的に余裕のある令和元年度内に事業を行った。

水道メーターの作業で使用している建物（松の実）の事故防止、荷物の運搬効率化を図るため段差解消を行いスロープを設置、作業に使用する部屋の床面の補強工事を行った。

2 職員配置

施設長	事務員	サービス 管理責任者	生活支援員	目標工賃 達成指導員
1	1	1	1	1
職業指導員 常勤（内嘱託）	職業指導員 非常勤			
6（1）	5			

令和2年3月31日現在

3 外部・内部研修

実施日	研修名	参加人数
5月17日	新人研修 虐待防止法について	1
7月6日	法人研修 権利擁護について	2
8月2日	サービス管理責任者研修	1
10月4日	法人研修 権利擁護について	3
11月20日	中央研修会	2
11月26日～27日	地域共生フォーラム	1
12月7日	一羊会実践報告会	1
12月14日	法人研修 権利擁護について	1
1月18日	自閉症事例発表会	5
2月7日	新人研修 接遇について	2
2月7日～9日	アメニティーフォーラム	1
2月9日	施設で取り組む高齢化	1

4 年間行事

月	日	行事内容	参加人数
4月	5日	お花見&お食事会	38名
	17日	春季健康診断	43名
5月	21日	外食外出	14名
	23日	外食外出	22名
6月	7日	日帰り旅行（福井）	28名
7月	5日	七夕まつり	38名
8月	9日	夏祭り	37名
9月	28日	スポーツ大会	22名
10月	19日	手作りおやつ（ベビーカステラ）	30名
11月	2日	武庫川園祭り	31名

12月	23日	クリスマス会	41名
	27日	大掃除	40名
1月	11日	新年会	30名
2月	3日	節分会	34名
3月	3日	ひな祭り撮影会	35名

5 月別生産活動収益

月	月別合計金額
4月	330,235
5月	277,971
6月	344,637
7月	388,389
8月	366,716
9月	203,487
10月	336,835
11月	349,489
12月	414,785
1月	226,596
2月	408,472
3月	499,359
合計	4,146,971

リーブ・フルーリー

1 令和元年度事業総括

令和元年度は一部入院等の必要な方があったが、入所は満床で推移した。生活介護事業における年間の平均利用者数は 48.7 人であった。短期入所については、法人内通所利用者の緊急的なロングステイの状況や外部新規利用者の増加もあり、延べ利用者数は 1,440 人であった。過去 5 年間の延べ利用者数の推移は以下のようになっている。

年 度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度
人 数	988 人	934 人	1,199 人	1,330 人	1,440 人

予定していた外壁塗装及び防水修繕工事は着工時期が予定より遅れたものの令和元年 1 月からスタートし、当初心配されていたご利用者への影響等も大きくは見られず、施行業者の安全配慮もあって順調に進められている。また、やまぶき財団の助成金を活用し経年劣化による故障が目立っていた業務用洗濯機・乾燥機を各階共に入れ替えることが出来た。重点事項としていた業務改善について、業務支援ソフトの活用場面は増えてきているものの、十分に使いこなせていない部分も多い。技術的な指導を受ける機会を設けるなどし、共通ソフトを利用する他施設との連携も視野に入れ、業務改善へつなげていきたい。

ご利用者の生活場面では、兵庫県音楽療法士協会の助成事業を活用し、音楽療法を毎週取り入れるようにした。1 回の参加者は 15～20 名程度で体を動かしながら楽しく歌を歌われる様子が見られ、職員が補助に入りながら有意義な活動となった。また、地域のボランティアの方が月に 2 回程度「笑いヨガ」の実践に来ていただくこととなった。声を大きく出して笑うことでストレスを発散し、ご利用者にとっても好評な活動となっている。日常的なウォーキングやカラオケ、車いすの方の軽運動活動なども含め、年齢や体調に合わせた活動ができるように努めた。外出活動についても小グループでの一日外出や近くのスーパーへのちょっとした買い物など積極的に行ってきたが、年度終盤は新型コロナウイルスの感染拡大防止措置により自粛することとなった。

ご利用者の健康管理では、協力医療機関及び嘱託医との連携により疾病の早期発見・早期治療に努め、感染症予防措置の強化などに取り組んだ。高齢化による医療の必要度は高まる傾向にあり、今後も近隣の医療機関を含め、協力体制の維持に努めていく。

短期入所事業は、緊急時など法人内通所施設のニーズに応えつつ高齢になられた方に対応するよう共生型の指定を視野に入れる。

2 職員配置

施設長	事務員 本部事務兼務	サービス管 理責任者	看護師	管理栄養士
1	1	1	2	1
理学療法士	支援員 常勤（嘱託）	支援員 非常勤		
1	19（4）	11		

2年3月31日現在

3 内部・外部研修

<外部>

実施日	研修名	参加人数
5月8・28日	チーム・マネジメントリーダー研修	1名（副主任）
6月20日	新任職員研修	1名（支援員）
6月・1月	障害者虐待対応力向上研修	2名（支援員）
8月24日	介護技術（移乗）研修	1名（支援員）
9月13・14日	リフトリーダー養成研修	1名（支援員）
9月・10月	強度行動障害基礎研修	2名（支援員）
9月29日	日本人の食事摂取基準	1名（栄養士）
11月・12月	介護福祉士実習指導者講習	1名（主任）
1月24日	西宮市事業系一般廃棄物研修	1名（事務員）
2月・3月	サービス管理責任者更新研修	2名（支援員）
3月27日	西宮市栄養士研修会	1名（栄養士）
通年	自閉症eサービス集中研修	2名（支援員）

<内部>

実施日	研修名	参加人数
11月19日	感染症・ノロウイルス対策研修	5名
12月20日	自閉症支援研修	10名
3月24日	認知症基礎研修	12名

4 年間行事

月	日	行 事 内 容	参加人数
4 月	3～15	花見	50
5 月	14～31	春季健康診断	50
5・6 月	31.7.21	日帰り旅行（大阪方面）	49
7 月	26	夏祭り	49
通年	1～2回 ／月	選択外出	49
8 月	30	運動会（屋内）	48
9 月	25	B B Q 大会	50
10 月	26	西宮市民祭	
11 月	2	武庫川園祭	50
	7	一泊旅行①（白浜方面）	15
	9	ミーツザ福祉	3
	15	日帰り旅行（京都方面）	20
	21	一泊旅行②（白浜方面）	13
12 月	20	クリスマス会	50
1 月	16	新年会	48
2 月	3	節分会	48
3 月	24	缶元祭	49

第1松の園

1 令和元年度事業総括

10代3名を含む50代までの46名定員を定員緩和の51名の契約で開始した。1名が12月に引っ越し、1名が2月に基礎疾患進行のための入院退所となり年度末には49名の利用となった。けがなどでの登園困難利用者へのリフト付き個別送迎車での迎えや長期休業者にも相談支援と連携し、フォローを行うことで再登園ができていることで昨年度より微増し定員に対する登園率は96パーセントであった。

多様なニーズに対応できる日中活動を展開していくために自閉症をはじめとした学習・評価・実践を行った。朝礼時のワンポイント学習・毎週の内部学習・法人研修への積極的参加を行い、常に学びながら支援を行うことで、不適切支援も徐々に少なくなっている。実践としては、インターネット環境を整え、余暇の充実や強度行動障害支援5名・新入利用者の日中活動構造化を試行錯誤で継続して行っている。

高齢化と将来の不安については2松と合同で家族アンケートに取り組み、結果を保護者会懇談会にも提示し、個別送迎や緊急時対応を検討し、行政との話し合いも持った。また、月1回提携医院の医師訪問による医療相談を開始し、週1回の看護師による健康相談と合わせ、医療相談体制をとり登園再開者や高齢化の不安を相談した。

多機能の生活・就労両事業共通での、自主製品を通じた地域への展開として祭や阪神特別支援学校への定期的な販売、見学会・法人内部のマーケット開催を利用者に担っていただくことで工賃向上と意思決定の活動充実に結びついた。就労継続B型の工賃は業者請負の作業が少なくなった中で5000円代をキープすることができた。就労継続B型の再編成に向けての第2松の園との情報共有・交流は、ほとんどできず継続課題としている。広報は毎月の通信やブログ更新ができ利用者の生き生きした日常を伝えた。

補助も多く、長谷川福社会からテーブル・椅子・パーテーション購入補助、やまぶき財団からリフト付き車の購入補助・大阪ガスからのパソコン3台寄贈を受けた。

安全については38件のヒヤリハット出来事・2件の事故があった。権利擁護面では、ご家族からの苦情・要望が8件寄せられ改善・全員に周知した。

2 職員配置

施設長	事務員 本部事務兼務	サービス管理 責任者	看護師 パート	栄養士
1	1	1	(1)	0
理学療法士 非常勤	支援員 常勤	支援員 非常勤		
0	7	4		

R2年3月31日現在

3 外部・内部研修

実施日		研修名	参加人数
5月	9	新人研修	1
	11	伝達研修（社会福祉動向）	3
	20	身体介護	3
	12	発達障害	3
7月	4	甲山福祉センター見学会	1
8月	2	ジストロフィー研修	1
	1～2	サビ管養成研修・	1
	26	地域福祉について	1
	29	キャリア形成訪問事業（コミュニケーションについて）	4
	30	キャリア形成訪問事業（記録の書き方）	5
9月	11	発達障害	3
	12	サビ管養成研修	1
	13	統合失調	1
	14・28	強度行動障害支援者養成研修	1
	21	自閉症スペクトラム総論	1
10月	6回シリーズ	障害特性（基礎疾患ごと）	4（パート職員）
	24	苦情・クレーム対策研修	1
	12.26	自閉症 コミュニケーション支援1・2	1
11月	16日	コミュニケーション ソーシャルスキル	
12月	14	自閉症 強度行動障害支援	1
1月	8	発達障害内部研修	4
	18・19	アセスメント基礎研修	1

2月	9	PWS研修	1
	12～13	近畿地区知的障害者関係職員研究大会	1
	14・26	サービス管理責任者更新研修	各1
	25	発達障害（杉の子セミナー）	1

4 年間行事

月	行事内容	人数
4	花見 保護者会懇談会	46
5	定期健康診断 昼食会	46・ 47
6	日帰り旅行 阪神特別支援学校生徒実習	39
7	七夕作品展 阪神特別支援学校販売会	50
8	1 松夏祭り・家族交流懇談会（台風のため中止利用者夏祭りのみ）	44
9	スポーツ大会	32
10	（西宮市民祭り） 阪神特別支援学校生徒実習	職員 3
11	武庫川園祭り（尼崎ミーツザ福祉）日帰りグループ旅行①② 芦屋特別支援学校生徒実習	46
12	日帰りグループ旅行③ 保護者会大掃除・懇談会クリスマス会	44
1	新年会	48
2	個人懇談 節分 西宮市作品展 個人懇談会	47
3	ひな祭り クラブ活動報告（展示のみ）	46

毎月 誕生会 クラブ活動 避難訓練

見学…プロップ西宮 阪神特別支援学校 PTA 阪神・芦屋特別支援学

校2年生親子5組

5 月別生産活動収益

	2019年度
4月	120505
5月	153584
6月	179005

7 月	156387
8 月	131829
9 月	136553
10 月	136726
11 月	123950
12 月	165081
1 月	119520
2 月	170898
3 月	193057
計	1787095

こころ&つばさ

1 令和元年度事業総括

現在男性 4 名女性 2 名のご利用者が生活されている。
そのうち 1 名は一人暮らしへの意向があり、実現に向けて取り組みを進める予定だったが、相談員が 1 年間で数回変更され、具体的な取り組みにはならなかった。

男性 1 名、女性 1 名の方が日中新たな事業所へ行かれることになった。
体調不良時にホームで暮らす際、重度訪問の時間数が少なく、ヘルパー派遣ができないケースがあった。短時間でカトレアの園職員が訪問したが、吐血があり入院することになった。その後相談員と職員で市役所との交渉を開始した。

スタッフの確保は年間通じて安定していた。

2 職員配置

管理者	サービス管理 責任者	支援員 非常勤
1 名	1 名	1 6 名

令和 2 年 3 月 31 日現在

3 年間行事

月	日	行事内容	参加人数
1 2 月	2 5 日	避難訓練	9 名

かがやきステーション

1 令和1年度事業総括

入所39名・通所40名・障害者就労枠者1名・法人外1名の「サービス等利用計画支援」「サービス継続支援」「サービス提供時モニタリング」を継続した。件数はそれぞれ73件・100件・216件であった。また、地域からの一般相談（進路相談）も5件あった。日常活動としては、法人内通所利用者の緊急時の地域支援サービス調整や、ショートステイの調整・家庭からのヘルパー送り出し・入浴支援など、ご家族だけでは難しい事例のコーディネートを行ってきた。

法人内部では、「働きたい」「地域で暮らしたい」「充実した余暇活動をしたい」などのニーズに合わせた支援の調整を法人内事業所管にとどまらず他事業所とも連携をとり、行っている。

（例 カトレア利用者が第1松の園の就労継続事業の利用を試行）

西宮市自立支援協議会安心相談窓口連絡会（相談支援部会）に毎月参加、情報共有や必要なサービスに結びつけるための提言を行ってきた。法人においての将来的な相談支援事業の在り方についての検討は継続中である。研修は相談支援専門員向けの研修が少なかったため、2件だけであった。

2 職員配置

管理者(兼務)	(事務員)	相談支援員(兼務)
1	(1)	2

2年3月31日現在

3 外部・内部研修

実施日	研修名	参加人数
8月2日	尼崎市障害者就労支援フォーラム	1
2月9日	サービス管理責任者更新研修	1